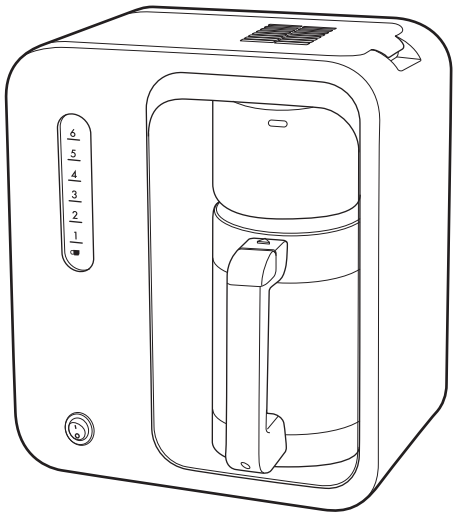
# コーヒーメーカー　TV-CM1501A

# 取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。

もくじ


安全上のご注意……P. 2～3
各部の名称とはたらき……P. 4
正しい使いかた……P. 5～ 8
お手入れと保管……P. 9
修理・サービスを依頼する前に……P. 10
アフターサービスについて……裏表紙
保証書……裏表紙


## 仕　様

| | |
|---|---|
| 品　名 | コーヒーメーカー |
| 型　名 | TV-CM1501A |
| 電　源 | AC100V　50/60Hz |
| 定格消費電力 | 650W |
| 満水容量 | 約800mL (ポット容量) |
| 抽出方式 | ドリップ式 |
| 電源コード長さ | 約1.4m |
| 外形寸法 | 約 幅26× 奥行き17.5 (サーバー取っ手含む) × 高さ30cm |
| 質　量 | 約2.3kg |
| 付属品 | 計量スプーン (1個) 、紙フィルター (3枚) 、取扱説明書・保証書 × 1 |

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
  (This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

# 安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。 |
| ⚠注意 | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。<br>(物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。) |

**図記号の意味と例**

| | |
|---|---|
| | ⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。) |
| | ●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。) |

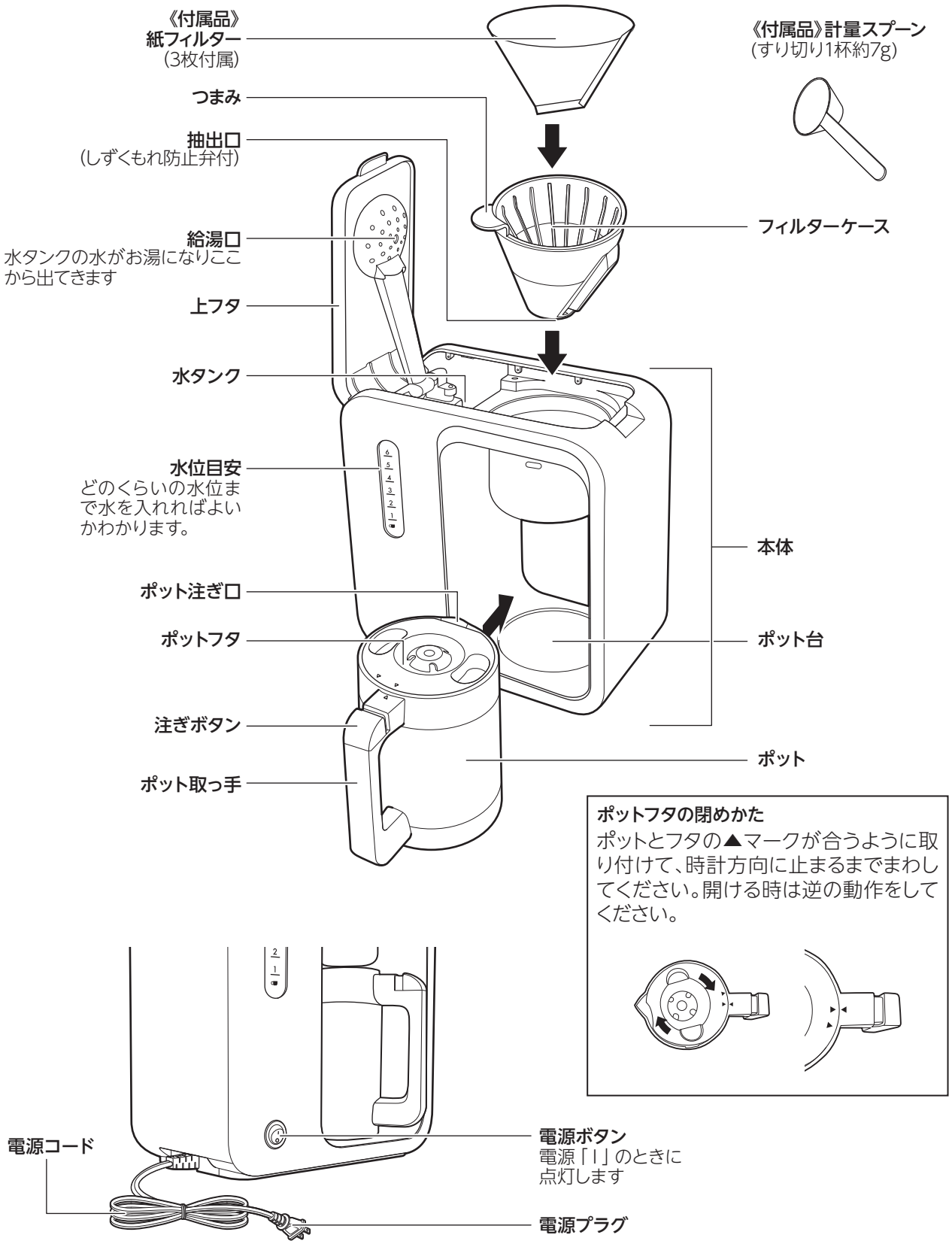
# ⚠警告

| | | | |
|---|---|---|---|
| 禁止 | **交流100V以外では使用しない。**<br>火災・感電の原因になります。 | 指示 | **電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。**<br>感電・ショート・発火の原因になります。 |
| | **電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。**<br>火災・感電の原因になります。 | | **定格15A以上の壁コンセントを単独で使う。**<br>他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。 |
| | **電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。**<br>感電・ショート・発火の原因になります。 | | **電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。**<br>ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。 |
| | **子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。**<br>けが・やけど・感電の原因になります。 | プラグを抜く | **使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。**<br>火災や故障の原因になります。 |
| | **本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。**<br>感電・けがの原因になります。 | | **お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。**<br>感電・火災・けがの原因になることがあります。 |
| | **カーテンなどの可燃物の近くで使わない。**<br>火災の原因になります。 | 分解禁止 | **分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。**<br>火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはトップバリュお客さまサービス係にご相談ください。 |
| | **ポットなしで使用しない。**<br>コーヒーが飛び散って、やけどの原因になります。 | ぬれ手禁止 | **ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。**<br>感電の原因になります。 |
| 使用禁止 | **異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。**<br>火災・感電の原因になります。 | 水ぬれ禁止 | **水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。**<br>ショート・感電の原因になります。 |

# ⚠注意

| | | | |
|---|---|---|---|
| 禁止 | **お手入れや持ち運び、保管のときは、本体が冷めてから行なう。**<br>火災ややけどの原因になることがあります。 | 禁止 | **決められた容量以上のコーヒー粉・水を入れない。**<br>コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因になることがあります。 |
| | **不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。**<br>けがや火災の原因になることがあります。 | | **上ふたの周辺にふきんなどをかけてふさがない。**<br>変形や変色の原因になることがあります。 |
| | **ドリップ中や使用直後、高温部に手を近づけない。特に乳幼児の手が触れないように、充分注意する。**<br>やけどの原因になることがあります。 | | **水タンクに水以外のものを入れない。**<br>水タンクが変形することがあります。 |
| | **壁や家具の近くで使わない。**<br>熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になることがあります。 | | **ポットをのせたまま、本体を動かさない。**<br>やけどやけがの原因になることがあります。 |
| | **ドリップ中や使用直後はポット台に触れない。**<br>やけどの原因になることがあります。 | 指示 | **電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。**<br>感電やショートの原因になることがあります。 |

# 各部の名称とはたらき




**ポットフタの閉めかた**

ポットとフタの▲マークが合うように取り付けて、時計方向に止まるまでまわしてください。開ける時は逆の動作をしてください。

# 正しい使いかた

## 初めて使うとき

- ポットやフィルターケースを洗ってください。
- 水タンク内は、ぬるま湯に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとってください。
- 初めて使用するときや、長い間使用しなかったときは、コーヒー粉を入れないで2〜3回水だけでドリップをしてから使用してください。
- 使い始めはプラスチックの臭いがすることがありますが、しだいに臭いは少なくなります。

## ホットコーヒーの作りかた

### 1. 本体を正しく設置する

**まだ電源コードはコンセントに差さないでください。**

水平な熱に強い場所に設置してください。

- 電源ボタンが「○」側になっていることを確認してください。
- 水平な場所以外に設置すると、不意に上フタが閉まったり、お湯がこぼれたりしてとても危険です。

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | **電源コードを本体ではさまないように、ポット台やポットに触れないように注意する。**<br>電源コードを傷めて感電や火災の原因になります。また、転倒させて破損やけがの原因にもなります。 |

### 2. 上フタをあけてフィルターケースを取り付ける

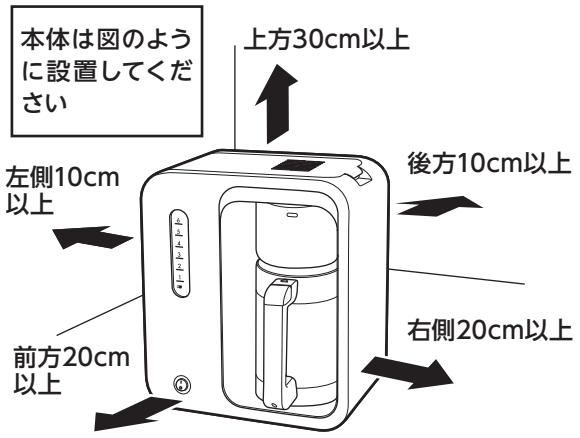
フィルターケースを△▽マークに合わせるようにして上からはめ込み、つまみを右に回して取り付けてください(「フィルターの取り付けかた」(7ページ)参考にしてください)。

※フィルターケースを本体にロックしないと、ポットをポット台にのせたとき、フィルターケースが浮いてしまい正しく使用できません。

### 3. 紙フィルターの綴じ部を折り、フィルターケースに、紙フィルターを広げながら入れる

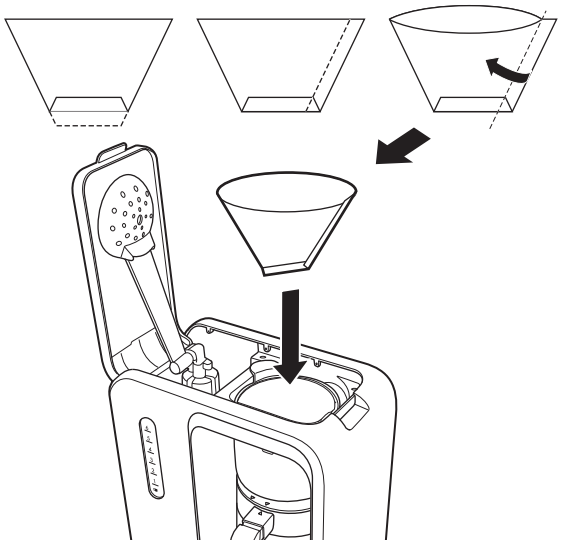
- 市販の紙フィルターは、1×2または102をお求めください。
- 右図のように紙フィルターを折り、フィルターケースに広げて入れてください。

**本体は壁や周囲から適当な距離を保ってください。**




- **次のような場所では使用しないでください。**
  - •カーテンや壁、家具など、可燃物の近く
  - •熱に弱い敷物の上
- **本体は、安定した水平な台などの上に設置してください。**
- **本体が熱くなったり、上フタ周辺から湯気が出たりしますので、周囲から少し離してお使いください。**

**紙フィルターの折りかた・いれかた**



▶▶つぎのページにつづく▶▶

# 正しい使いかた（つづき）

## 4. 必要な量のコーヒー粉を入れる

いれるコーヒーの量に合わせ、コーヒー粉の量は好みにより加減してください。

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | • **コーヒー粉は、細びき粉を使用しない。**<br>• **コーヒー粉は、必要な量以上入れない。**<br>コーヒーがこぼれて、やけどの原因になることがあります。 |

| カップ数 | コーヒー粉の量<br>（付属の計量スプーンですり切りではかった場合） | |
|---|---|---|
| | ホットコーヒー<br>コーヒーカップ 約120 mL | アイスコーヒー<br>（アイスコーヒー用粉） |
| 1 カップ | 1 杯 | − − |
| 2 カップ | 2 杯 | 4 杯 |
| 3 カップ | 3 杯 | 6 杯 |
| 4 カップ | 4 杯 | − − |
| 5 カップ | 5 杯 | − − |
| 6 カップ | 6 杯 | − − |

## 5. コーヒーの量に合わせて、水タンクに水を入れる

コップなどを使って水を入れてください。

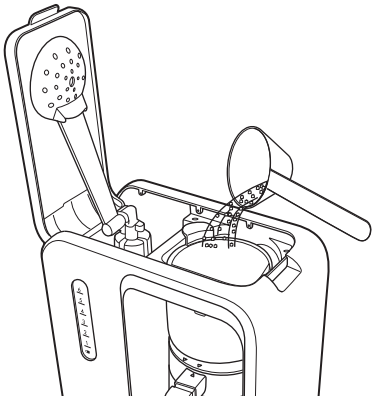
• 入れる水の量は、水位目安で確認してください。

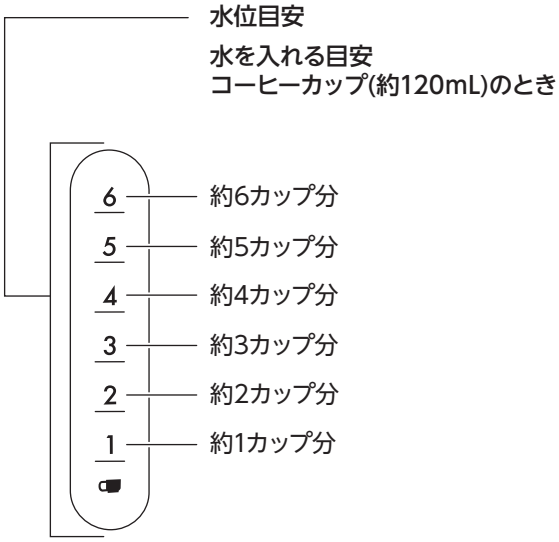
| | |
|---|---|
| ⚠注意 | • **水道の蛇口から直接水を入れない。**<br>水がこぼれて、感電やショートの原因になることがあります。<br>• **水は目盛り6以上入れない。**<br>• **本体に水やコーヒーが入った状態で、本体を持ち運ばない。**<br>• **水タンクに水以外のものを入れない。**<br>水タンクが変形することがあります。 |

## 6. ポットをポット台にのせていることを確認する

ポットとフィルターケースの抽出口が、正しく取り付けられていることを確認してください。

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | **ポットをのせたときに、抽出口がポットの中央部に位置しているかを確認する。**<br>コーヒーがこぼれて、やけどの原因になります。 |

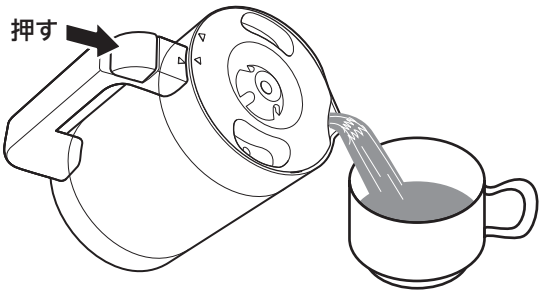




## 7. 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源スイッチを「I」側にする

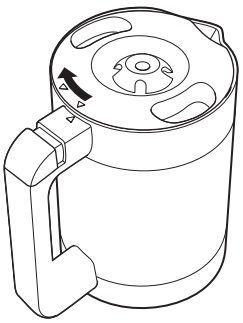
電源スイッチを押して電源を「I」側にすると、電源スイッチが点灯します。
しばらくするとコーヒーの抽出（ドリップ）が始まります。

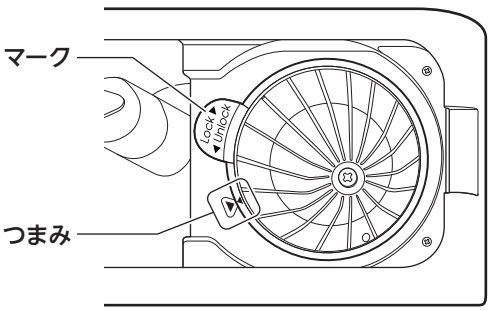
| | |
|---|---|
| ⚠注意 | • **ドリップ中は、上フタの周辺から蒸気が出るので、顔や手を近づけない。**<br>やけどの原因になります。<br>• **ポットを倒さない。**<br>ポットに転倒流水防止機能がないため、ポットを倒すとコーヒーが漏れます。 |




## 8. ドリップが終了したら、電源スイッチを「○」側にし、電源プラグをコンセントから抜く

- 熱めのコーヒーを飲むときは、あらかじめカップを温めておいてください。
- お湯・蒸気が完全に止まってから、ポットを取り出してください。
- カップに注ぐときには、ポットの注ぎボタンを押しながら注ぎます。（ポット本体「▲」とふたのLOCK側「▼」が合っていることを確認してください。）
- ドリップ後に紙フィルターを捨てるときは、コーヒー粉が完全に冷めてから、上フタを開いて、フィルターケースを取り出して、紙フィルターを取りはずしてください。






## フィルターケースのはずしかた

以下の手順でフィルターケースを持ち上げるとはずれます。

- フィルターケースのつまみを左回し（上方向）にして△▽マークを合わせ、持ち上げてください。

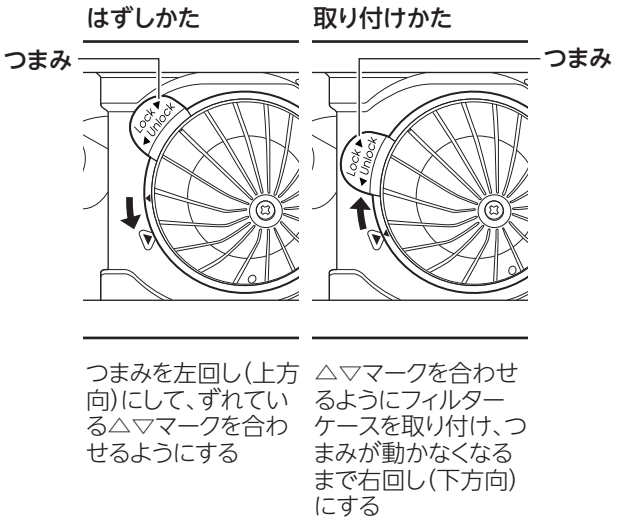
## フィルターケースの取り付けかた

- フィルターケースを△▽マークを合わせるようにして上からはめ込み、つまみを右回しにして取り付けてください。

## 続けてコーヒーを作る

- 電源スイッチを「○」側にして、本体が冷めるまで10分以上待って、ホットコーヒー・アイスコーヒーとも手順1からくり返してください。
- 10分以上置かずに再給水すると水蒸気の発生によって火傷する恐れがあります。

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | **電源スイッチを必ずOFFにしてから、行なってください。** |



# 正しい使いかた（つづき）

## アイスコーヒーの作りかた

### 1. アイスコーヒー用粉と水をアイスコーヒーのカップ数に合わせて用意し、ホットコーヒーと同じ手順でコーヒーを作る

・コーヒー粉の量は、6ページ 表「コーヒー粉の量」を参考にしてください。

### 2. ポットのフタを開けて、氷を入れてフタをしっかりと閉める

氷の量は、コーヒーとほぼ同じ量が目安です。

・砂糖を加える場合は、コーヒーが熱いうちに砂糖を加えて、溶かしてから氷を入れてください。

※ お好みでシロップや生クリームを加えてください。

## 途中で中止する

電源スイッチを「○」側にし、電源プラグを抜きます。お湯が出なくなってから、ポットを引き出し、水タンクの水を捨てます。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | **外出や本体から長時間離れるときは、電源スイッチを必ずOFFにして、電源プラグをコンセントから抜く。**<br>消し忘れや火災の原因になります。 |

# お手入れと保管

| ⚠警告 | **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。**<br>感電やけが、やけどの原因になります。 |
|---|---|

## お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体は水をかけて洗わないでください。感電・故障の原因になります。特に底部や電源スイッチ、電源コード関係のところは注意してください。
- もし底部や電源スイッチ、電源コードに水がかかってしまったときは、必ず乾いた布でふきとり、充分に乾燥させてから使用してください。

## 本体

ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

## ポット・フィルターケース

丸洗いができます。ただし、樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。

## 紙フィルター

付属の紙フィルターがなくなりましたら、市販の紙フィルター1×2または102をお求めください。

## お湯の出が悪くなったとき

1. レモン汁1個分 (種と絞りカスを除く) と水3カップを、ポットに入れよくかき混ぜます。
2. かき混ぜたレモン水を水タンクに入れ、コーヒーを作るときと同じ操作を行います。
3. 1と2を2回くり返したあと、ポットの水を捨てます。
4. 水だけで2〜3回ドリップし、レモンのにおいをとります。

## 保管のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保管してください。

# 修理・サービスを依頼する前に

| ⚠警告 | **修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。** |
|---|---|

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

| 症状 | 主な原因 | 処置 |
|---|---|---|
| ドリップできない<br>コーヒーができない | • 電源プラグがコンセントに差し込まれていない | プラグを正しく差し込んでください |
| | • 水タンクに水が入っていない | 水タンクに水を入れてください |
| | • コーヒー粉が入っていない | コーヒー粉を入れてください |
| | • 水タンクに水以外を入れた | 充分お手入れをして、水が流れるようにしてください |
| コーヒーがあふれる | • コーヒー粉か水を入れすぎている | 適切な量を入れてください |
| | • しずくもれ防止弁が押されていない | ポットを正しく取り付けてください |
| | • 適切なコーヒー粉を使用していない（細ひき粉を使用している） | 適切なコーヒー粉（中ひき粉、粗ひき粉）を使用しください |
| コーヒーがぬるい | • 寒冷地など厳しい環境で使用している | あたたかい場所でご使用ください |
| | • コーヒーカップをあたためていない | コーヒーカップをあたためてから、コーヒーを注いでください |
| しずくもれ防止弁が効かない | • コーヒー粉などが弁に付着している | しずくもれ防止弁を上下させながら、水またはぬるま湯で汚れを落としてください |

## 長年ご使用のコーヒーメーカーはよく点検を

### このような症状はありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはトップバリュお客さまサービス係に点検をご相談ください。

# MEMO

# アフターサービスについて

## ●製品の保証について

1. この製品には保証書がついています。
   保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。
2. 保証期間はお買い上げの日から 2 年間です。
   保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は販売店またはトップバリュお客さまサービス係にご相談ください。
   修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

## ●修理を依頼されるときは

**⚠警告**

- 故障のときは、ただちに使用をやめて電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にこの製品をお持込みのうえ修理をお申しつけください。
- ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

## ●補修用性能部品について

1. 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
2. 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年間です。

アフターサービスについてわからないことは…
お買い上げの販売店、またはトップバリュお客さまサービス係にお問い合わせください。

TOPVALU

## コーヒーメーカー保証書

TV-CM1501A **持込修理**

| | | |
|---|---|---|
| 保証期間 | お買い上げ日 | 年　月　日 |
| | お買い上げの日から本体2年間 | |
| お客様 ご住所 | □□□-□□□□<br>電話 | |
| お客様 お名前 | ふりがな<br>様 | |

本書は、下記の保証規定により無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から2年以内に万一故障が発生した場合は本書をご提示のうえお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証書に所定事項の記入または販売店印がない場合は必ず販売店発行の領収書または、その他の購入年月日、店名等を証明するものを合わせてご提示ください。
安全点検などのために、写しをとる必要がある場合は、お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

| | |
|---|---|
| お買い上げ店 | 住所・店名<br>印<br>電話 |

**販売店様へお願い**　この保証書は、販売店様が所定事項を記入して効力を発するものですから、必ずご記入ください。

### 保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがって正常な使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、トップバリュお客さまサービス係にお問い合わせください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (ロ) お買い上げ後の輸送、落下による故障および損傷
   (ハ) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷
   (ニ) 本書の提示がない場合
   (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、または字句を書きかえられた場合
   (ヘ) 故障の原因が本製品以外（電源、他の機器等）にあってそれを点検、修理した場合
   (ト) 一般家庭用以外（例えば、業務用、船舶や海上使用等）に使用された場合の故障および損傷
   (チ) 腐食による故障および損傷
   (リ) 樹脂加工およびメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
7. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明記した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店またはトップバリュお客さまサービス係にお問い合わせください。

※お買い上げの販売店またはトップバリュお客さまサービス係にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。またお買い上げの販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましては、輸送方法によって、一部ご負担いただく場合があります。


販売者 **イオン株式会社**
〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
●トップバリュお客さまサービス係
TEL. 0120-**30**-1580（10～17時:日曜日は除く）


●本製品について万一ご満足いただけない場合は、お買い上げの店までご連絡ください。お取り替えまたはご返金いたします。